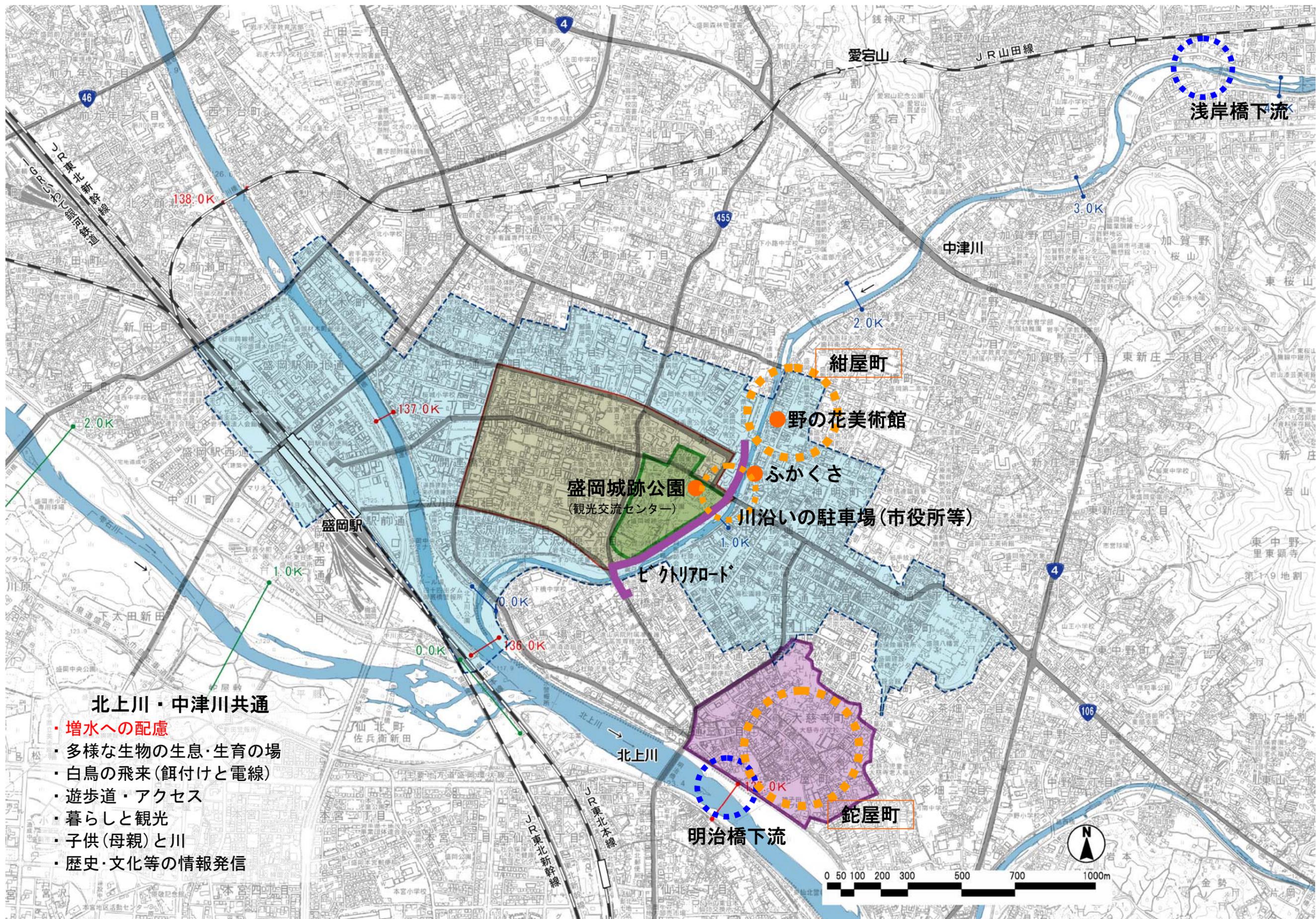


盛岡地区かわまちづくり第 1 回懇談会議事要旨とその対応について

懇談会での主な意見	懇談会での回答	対応方針
<p>1. かわまちづくり懇談会の位置づけと進め方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「継続的・柔軟的・発展性のある」は良いキーワードである。実現してほしい。 ・懇談会場でまちづくり計画における様々な意見を集約して議論できれば良い。 ・盛岡市内には川に関心をもっている市民がたくさんいる。この懇談会だけでは拾いきれない。ワークショップは、ぜひともやっていただきたい。広い意見聴取をお願いしたい。 ・かわまちづくり計画はお墨付きを与えるような位置づけとなるのか。 ・まちと川の創発を目指す。ワークショップは、情報収集の場でなく、運動促進に活かすべき。 ・かわづくり・まちづくりの検討にあたっては予め制約条件を出してもらいたい。 ・気候の良いときに現地を歩いて、議論したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度 3 回を予定。次年度以降も継続的に進めていきたい。 ・広くご意見を賜る必要がある場合は、懇談会に従って進めたい。 ・計画に基づき、役割分担の中で国としてまちづくりのためにかわづくりをしていく。計画を作成し、年次計画をつくって実施したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●都市マスタープラン策定時の意見・要望等【参考資料 1】 ・植栽や構造物など技術的条件等を共有しながら議論を進める。かわまちづくり支援制度の特徴(河川空間利用イメージ)を活かした検討を進める。 ・現地での情報共有のため視察会の実施。夏にも予定。
懇談会での主な意見	意見に対する考え方	対応方針
<p>2. かわとまちの現状・課題、連携について(情報共有)</p> <p>□かわの環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な生物が生息・生育していることが、重要な存在価値であることを基本的認識とすべき。 ・川には極力手を加えないで、そのままであってほしい。 ・川は洪水を繰り返しながら良い環境を再生している。 ・浅岸橋下流にサケの産卵場がある。遊歩道など少し手を加えれば、良い場所になる。 ・飛来する白鳥について、餌付けを禁止しなくても良いのではないかと。白鳥が電線に引っかかることを何とか方策をもらいたい。 <p>□まちとかわの歴史・景観について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盛岡の古い町並みが川のそばにあれば良い。 ・明治橋下流に船橋の再現が望ましいが、管理が大変なので木造橋時代の再現があっても良い。 ・鉾屋町、舟橋、南の玄関口であったという歴史を生かして、親水性のある水辺としたい。 <p>□まちとかわの連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野の花美術館を中津川の発信地として何とか盛り上げたい。観光博物館との関連を強くする、河原に野の花が咲くような河原にするなど支援できないか。 ・盛岡城跡公園との一体化。川と公園の間の休憩スポット、景観づくりが必要である。 ・オープンカフェの恒久化が望まれる。(ふかくさ・ござ丸を例に) ・紺屋町の空き店舗の活用によって中津川とまちが連携できる。 ・川沿いの駐車場は、景観的にマイナスなので、くつろぐスペースなどで魅力的にしたい。 <p>□ネットワークについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさん橋がある。橋を巡って歩くことも楽しいと思う。 ・散策路、まちから河川に入っていくアクセス、その 2 点を改善していけばよい。 ・ビクトリアロードのハンキングバスケット(HB)はきれいだが、盛岡のまち、かわに合わせた方がよいのでは。 <p>□かわと暮らし、観光との関わりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暮らしの中で増水への心配がある。 ・子育て支援の団体と連携して、子供を川で遊ばせることで、母さんを川に呼びたい。 ・日常の暮らし(市民)と非日常(観光客等)の両面の中津川を考慮する必要がある。 ・観光・暮らし両方とも大切であるという共通認識を持つことが必要ではないか。 <p>□情報発信について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中津川は盛岡市民の財産。これを知らしめて誇りをもつことが大切である。 ・伊能忠敬、菅江真澄など歴史上の人物を活かしてアピールすべき。 ・アートが必要ではないか。アーティストが生活できるまちでもあることは喜ばしい。 	<p>□かわの環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> …治水安全性の確保を前提に、良好な環境を形成している多様な河川形態、河道内の河畔林、河岸植生等の維持・保全に努める …サケの遡上を身近に触れられる中津川の連続性を活かし、浅岸橋下流まで検討範囲を延伸する(中津川橋～浅岸橋間を追加) …今後、電線移設の可能性、実現化について、関係者と調整していく <p>□まちとかわの歴史・景観について</p> <ul style="list-style-type: none"> …盛岡市景観計画を適切に運用しながら、良好な景観の保全を図る …まちなみ環境整備事業により、鉾屋町界隈の街並み保全と水辺空間整備との連続性、舟橋跡、木橋などの歴史を伝える施策を検討する <p>□まちとかわの連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> …沿川に点在する地域資源の活用・連携によって得られるかわとまちの魅力アップ、相乗効果を図る …盛岡城跡公園との一体的水辺空間整備やオープンカフェは、本かわまちづくり計画の施策のひとつとして位置づける …個々の具体的な施策は、WSにより検討を進める(紺屋町・駐車場等) <p>□ネットワークについて</p> <ul style="list-style-type: none"> …橋を交流の場、眺望の場として、ネットワーク拠点として位置づける …河川空間及びまちとの分断要因等の改善を図り、ユニバーサルデザインに配慮したネットワーク方針を立案する …個々の具体的な施策は、WSにより検討を進める(ビクトリアロード等) <p>□かわと暮らし、観光との関わりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> …暮らし(治水安全・身近な自然環境軸)、観光(観光資源を結ぶ軸)の双方を意識した基本方針を立案する …個々の具体的な施策(テーマ)は、WSにより検討を進める(子供と川等) <p>□情報発信について</p> <ul style="list-style-type: none"> …北上川・中津川を軸に、盛岡市の自然・歴史・文化を発信する(フィールドミュージアム)仕組みについて検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ●かわまちづくり計画の基本方針について【資料 2】 ①まちを洪水から守る安全な川づくり ②かわの自然環境の保全・活用 ③かわとまちの歴史・景観資源の保全・活用 ④かわとまちを結ぶ連携空間の創出 ⑤かわとの多様な関わり、情報発信の仕組みづくり <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ●取り組むべき施策(素案)【資料 2】 1. 河岸の維持・補修などの河川管理 2. まちなかの水緑軸の保全 3. かわまちの歴史・景観の保全・活用 4. 水辺ネットワーク・拠点づくり 5. 情報発信・連携の仕掛けづくり <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ●取り組むべき施策(素案)を実施するための検討区間について



北上川・中津川共通

- ・ 増水への配慮
- ・ 多様な生物の生息・生育の場
- ・ 白鳥の飛来(餌付けと電線)
- ・ 遊歩道・アクセス
- ・ 暮らしと観光
- ・ 子供(母親)と川
- ・ 歴史・文化等の情報発信